

編集後記

会議や打ち合わせが一日中あって疲れて家に帰ると、脳のギアチェンジをしたくなる。そういうときは、インターネット配信の海外ドラマをよく見る。犯罪ものは結構好きだ。シリーズにはまってしまつとついつい、数エピソード続けて見てしまうこともある。ミステリー小説にお決まりの「約束事」があるように、ドラマの脚本や演出もパターンがある程度見えてくる。人物の登場の仕方、せりふの内容やタイミングなどの劇作術を心得ると、「あ、こいつが犯人!」とわかってくる。「意外な犯人像」も「推理」に織り込み済みで見ると、結構当たるのだ。40分ほどで正解がわかり、スッキリ感が得られる、というところが探偵ドラマの魅力なのだろう。

高橋・寺村両氏が本特集に書いているように、我々がおこなう研究も推理の積み重ねで、探偵の事件捜査に通じる。しかし、現実にはドラマとは違って小一時間で答えが出るものではない。しかも「正解」がひとつとも限らない。5年、10年、20年とかけて、こつこつ、ちまちまと証拠を蓄積し、ようやく全体像がおぼろげながら見えてくる。気が遠くなる作業だけに、即時解決型の娯楽について逃避したくなるのである。(山中由里子)

●表紙：家屋入口用 鍵 地域：メキシコ H0131819

●特集に掲載されている鍵資料

p2 表紙と同じ

p4 大櫃用 鍵 地域：メキシコ H0131829

p5 衣装箱用 鍵 地域：モロッコ H0126962

p7 鍵 地域：日本、北海道 H0033214

p8 衣装箱用 鍵 地域：モロッコ H0126961

次号の予告

特集

市に集う

月刊みんぱく 2015年11月号

第39巻第11号通巻第458号 2015年11月1日発行

編集・発行 人間文化研究機構 国立民族学博物館

〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園 10-1
 電話 06-6876-2151

発行人 池谷和信

編集委員 山中由里子(編集長) 河合洋尚 菅瀬晶子

丹羽典生 丸川雄三 南真木人 吉岡乾

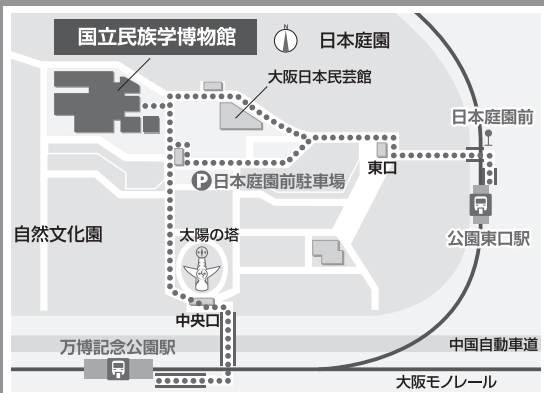
デザイン 宮谷一 長岡綾子

制作・協力 一般財団法人 千里文化財団

印刷 能登印刷株式会社

*本誌についてのお問い合わせは国立民族学博物館広報係に
 お願いします。

*本誌掲載記事の無断転載を禁じます。



交通案内

- 大阪モノレール「万博記念公園駅」・「公園東口駅」下車、徒歩約15分。
- 阪急茨木市駅・JR茨木駅から近鉄バスで「日本庭園前」下車、徒歩約13分。
- 乗用車は、公園内の「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約5分。「日本庭園前ゲート」横にある民博専用通行口をお通りください。
- タクシーは、万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れてきます。

みんぱくホームページ

<http://www.minpaku.ac.jp/>

みんぱくフェイスブック

<http://www.facebook.com/MINPAKU.official/>

みんぱくツイッター

<http://twitter.com/MINPAKUofficial>

